

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書			
愛媛県立北宇和高等学校 学校番号 (43)			
評価実施日		令和8年2月17日(火)	
委 員	氏 名	所属等	備考
	清家 治	地域住民	
	小出 徳彦	地域代表	
	本田 哲士	宇和島警察署鬼北交番所長	
	荻原 潤	鬼北町立広見中学校長	
	門脇 舞	北宇和高等学校PTA会長	
評 価 ・ 提 言 等		提言等に対する改善方法等	
1 今年度の最終評価について (1) 学習指導 家庭学習時間が伸びていない状況や、課題・宿題等への生徒の取組姿勢が不十分な部分も見られるようなので、工夫しながら効果的な取組をお願いしたい。 (2) 生徒指導 「明るいあいさつ」の評価が低いが、日常の生徒の様子を見ている限り十分できていると思う。皆勤率の評価については、社会的に皆勤は取りやめの方向に進んでいるので、高校でも検討してほしい。交通事故ゼロの状況を今後も継続してほしい。 (3) 進路指導 就職における離職率の高さが社会全体の課題になっているなかで、本校も生徒の適性に応じた進路指導等によりミスマッチのない進路指導をお願いしたい。 (4) 業務改善 教職員の上履きは、防災の観点から見ると、スリッパ型より運動靴タイプの方が非常時等には動きやすく適切ではないかと思うので、検討してはどうか。 (5) 農業科の取組 年間を通して多岐にわたる取組実践がなされており大変素晴らしい。スマート農業や儲かる農業等についての指導も行政とも連携しながら取り組んでほしい。 2 重点目標について 心の教育推進校として、生徒の心にアプローチする効果的な取組が実践されている。 3 説明・公表について (1) ホームページ、Instagram、TikTokによる情報発信が効果的に行われている。 (2) 新聞で取り上げられる回数が多く、本校の教育活動が効果的にPRできている。 4 学校運営への提言 (1) 本校はどんな学校を目指すのか、学校の目指すビジョンを示し、立ち位置を明確にしてほしい。 (2) 寮が完成したことによって志願者も100名近くになっている。今後も学校の魅力化を推進し、県外生徒等の受け入れにも力を入れてほしい。		- 部活動等で時間に追われる生徒も多く中で、教科担当者の指導意図がなかなか伝わっていない現実がある。学習への向き合い方を指導していきたい。 - 今後も自ら進んで挨拶ができる生徒の育成に努めていく。皆勤の在り方については県立学校全体の状況も見ながら検討していきたい。交通事故防止については引き続ききめ細かい指導を継続していきたい。 - 就職後も面談を行う等きめ細かいケアを行い、離職の防止に努めている。在学中における指導も適性に応じた進路指導を徹底していきたい。 - 生徒にもスリッパ型の履物を購入させているため、今後、防災の観点も含めて検討していきたい。 - 農業科としては、現有資産と要員で可能な限りの事業に取り組んでいる。今後もこの姿勢を継続したい。また、関係機関ともしっかり連携したい。 - 今年度培った教育実践を次年度以降の活動に生かしていきたい。 - 生徒・保護者からも好評を得ているので今後も継続していきたい。また、令和8年は午年であることに鑑み、馬術部の活動とも関連付けながら、学校の魅力を発信していきたい。 - 県立学校再編後の本校の役割を整理・共有し、教職員が同じ方向を向いて取り組んでいく体制を整えたい。 - 全国募集については、寮のメリットを生かせるよう、引き続き積極的に募集に取り組んでいきたい。	